

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
新たな総合計画「基本構想」骨子(案)について							
1	伊達委員	3~4	資料2	担保すべきことが果たして魅力的なのか。安心安全はあるが、「いのち輝く、魅力」をどう創造するのか。「課題ベース」だと視野が狭くなる。「夢ベース」だと視野が広がるが質的改善にはつながらず、量に走ってしまう。質をどう担保していくのかが書かれていると、読んでワクワクする。運用をどうするかを考えると、弱い方の対策に偏ってしまう。強みを伸ばす意欲ある方を伸ばし、意欲がない方を勇気づけるといったバランスがあるとよい。	「基本構想」骨子(案)に反映するとともに、「基本構想」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。	「3 神奈川の特徴や強み」 ■ 4つの特色や強み (1) 充実した交通ネットワーク (2) 身近にある多彩な自然・文化 (3) 集い、活躍する人材 (4) 集積する産業	総合政策課
2	小池委員	3~4	資料2 3 神奈川の特徴や強み	強みをどう捉えているか、最大の強みが書いてない。県の人口減少率は東京に次いで2番目に低く、高齢化率も下から4番目である。また、他県に比べれば若者が多い。県の強みとして位置付け、政策を進めていくスタンスがあるとよい。	「基本構想」骨子(案)に反映しました。	「3 神奈川の特徴や強み」 ■ 4つの特色や強み (1) 充実した交通ネットワーク (2) 身近にある多彩な自然・文化 (3) 集い、活躍する人材 (4) 集積する産業	総合政策課
3	朱委員	5	資料2 3 神奈川の将来像	基本構想では年齢が入っている。実施計画の「など」は年齢が入っているのか整理すべき。	「基本構想」骨子(案)に反映しました。	(2) 誰もが自らの力を発揮して活躍できる神奈川 誰もが元気で長生きでき、障がいの状態、国籍、性別の違いなどにかかわらず、希望する誰もが自分らしく社会づくりに関わることができる環境づくりを進め、「誰もが自らの力を発揮して活躍できる神奈川」の実現をめざします。	総合政策課
4	小池委員	6	資料2 1 政策展開の基本的視点	「1 政策展開の基本的視点」「人生100歳時代」について、資料3では、子どもから大人までの健康についての記載があるが、資料2では、高齢者に重点が置かれている。誰もが生涯にわたり若者世代から健康増進を図り、生き生きと生きている書きぶりがよい。デジタル社会において、PHR(パーソナルヘルスレコード)の管理を支えていく時代になる。若い世代から健康に関心を持つことを強調すべきである。例えば、「全世代」というキーワードを盛り込むとよい。	「基本構想」骨子(案)に反映しました。	・ 人生100歳時代 我が国では平均寿命が延び、本格的な人生100歳時代の到来が予想されます。定年退職後が「余生」と呼ばれた時代から超長寿の時代に向けて急速に社会が変遷し、価値観の多様化が進む中、全ての世代の人たちが生涯にわたり生き生きとくらす環境づくりが求められています。	総合政策課

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
5	瀧委員	6 3	資料2 資料3 テーマII	「国内外から選ばれる都市を作ります」について、どういうことを目指しているのかわかりにくい。実施計画のどのプロジェクトが対応するか分かりづらい。選ばれるということはどのようなことなのか、神奈川県としてどのようなことを想定しているのか、プロジェクトに落とし込む時に本当にこの文章でいいのかももう少し考えたほうがいい。	「基本構想」骨子（案）に反映するとともに、「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。	(2) 国内外から選ばれ、 <u>持続的に発展する都市をつくり</u> ます <参考> 実施計画 テーマII 持続的に発展する神奈川	総合政策課
6	末富委員	8 6	資料2 2 政策分野別の基本方向 資料3 5 主要施策	PJ1「子ども・若者」はよい。基本構想「2 政策分野別の基本方向」「(1)子ども・教育」に、「若者」も位置付けるべきである。	「基本構想」骨子（案）に反映しました。 「実施計画」骨子（案）に反映しました。	2 政策分野別の基本方向 (1)子ども・ <u>若者</u> ・教育 5 主要施策 政策分野別の体系 I 子ども・ <u>若者</u> ・教育	総合政策課 福祉子どもみらい局 教育局
7	河野委員	4~8	資料2 3 神奈川の将来像 1 政策展開の基本的視点	より伝わりやすい内容にするために、「神奈川の将来像」の3つと「政策展開の基本的視点」の7つがどのような対応関係になっているのかが、分かると伝わる。複合的に絡みあっているが、県民が理解でき、県のねらいが深く理解できるよう、対応関係が分かると良い。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課
8	海津委員			2040年を考えると、次の時代をつくり神奈川を担っていく人材を育てる視点が重要である。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課
9	米田委員	6	資料2 1 政策展開の基本的視点	2040年を考えると、人口減少は大きな課題ではあるが、「基本構想」も「実施計画」も最初に人口減少と紐づけて子育て支援が出てくるのが気になる。人口減少と子育て支援が続くと、何となく女性が産む人だけ期待されているようにも読み取れないので、このあたりの書きぶりを少し考えてもらいたい。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
10	米田委員			人材の育成は、社会を構成する担い手の育成として考え方を切り替えるべきである。子ども・若者が社会から大切にされていると実感することにより、自分自身を大事にしたいという思いを超えていかないと社会に貢献しようとならない。子ども・若者が大事にされることが重要である。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課
11	米田委員	7	資料2 1 政策展開の基本的視点 ・社会的孤立や生活への不安	「社会的孤立」がコロナに紐づけて書かれているが、地域社会の中でつながりを作ることに對して、社会的に関心が高まっており、人と人とのつながりの重要性に触れていただきたい。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		福祉子どもみらい局
12	原委員	7	1 政策展開の基本的視点 ・社会的孤立や生活への不安	社会的孤立について、障がい者の視点も大事だが、高齢者だけでなく、若者だけでもないという意味で、社会的孤立に「全世代」というキーワードがあるとよい。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		福祉子どもみらい局
13	伊達委員		資料2 資料3	どうすれば最大活用され、かつ、守る必要がある部分が守られるのかというバランスが重要である。クライシスであったり、リスクにどう対応するかという部分と同時にオポチュニティやクリエイティビティをどう創造するかという視点をうまくちりばめると、読み物として楽しくなる。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課
14	牛山委員	4	資料2 2 基本理念	基本構想の「いのち輝くマグネット神奈川」は非常に良いことなのだが、全く変わらないということで、文言の追加や修正はいらぬのか、ということも検討してもらいたい。	「基本構想」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
新たな総合計画「実施計画」骨子（案）について							
15 再掲 10	伊達委員	2～5	資料3 プロジェクト	担保すべきことが果たして魅力的なのか。安心安全はあるが、「いのち輝く、魅力」をどう創造するのか。「課題ベース」だと視野が狭くなる。「夢ベース」だと視野が広がるが質的改善にはつながらず、量に走ってしまう。質をどう担保していくのかが書かれていると、読んでワクワクする。運用をどうするかを考えると、弱い方の対策に偏ってしまう。強みを伸ばす意欲ある方を伸ばし、意欲がない方を勇気づけるといったバランスがあるとよい。	「実施計画」骨子（案）に反映するとともに、「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。	テーマⅠ <u>希望の持てる神奈川</u> テーマⅡ <u>持続的に発展する神奈川</u> テーマⅢ <u>自分らしく生きられる神奈川</u> テーマⅣ <u>安心してらせる神奈川</u> テーマⅤ <u>神奈川を支える基盤づくり</u>	総合政策課
16	海津委員	4	資料3 3 プロジェクト	P J 10「共生社会」の中で「ともに生きる」という言葉が使われ、またテーマの中で「包摂」というキーワードも使われていた。「包摂」は今大事だと言われ、重要になってくるとは思うが、含む、差別しないという時点でマジョリティとマイノリティが存在するとどうしてもとらえられてしまう。	「実施計画」骨子（案）に反映しました。	テーマⅢ <u>自分らしく生きられる神奈川</u>	総合政策課
17 再掲 5	米田委員	2	資料3 3 プロジェクト	2040年を考えると、人口減少は大きな課題ではあるが、「基本構想」も「実施計画」も最初に人口減少と紐づけて子育て支援が出てくるのが気になる。人口減と子育て支援が続くと、何となく女性が産むことだけ期待されているようにも読み取れないので、このあたりの書きぶりを少し考えてもらいたい。	「実施計画」骨子（案）に反映しました。	テーマⅠ <u>希望の持てる神奈川</u> 少子高齢化が進み、神奈川でも人口減少局面に入ったと考えられる中、安心して子どもを産み育てるための子育て支援や子ども・若者への支援に取り組むとともに、 <u>変化の激しい社会に適応できる人材の育成や人を呼び込む地域づくりを進めます。また、心身ともに健康で豊かにさせる社会をめざし、未病改善による健康寿命の延伸や誰もが文化・スポーツに親しめる取組などを進めます。</u>	総合政策課 政策局 国際文化観光局 スポーツ局 福祉子どもみらい局 健康医療局
18 再掲 13	瀧委員	3 6	資料3 プロジェクト 資料2	「国内外から選ばれる都市を作ります」について、どういうことを目指しているのかわかりにくい。実施計画のどのプロジェクトが対応するか分かりづらい。選ばれるということはどのようなことなのか、神奈川県としてどのようなことを想定しているのか、プロジェクトに落とし込む時に本当にこの文章でいいのかも少し考えたほうがいい。	「実施計画」骨子（案）に反映するとともに、「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。	テーマⅡ <u>持続的に発展する神奈川</u> <参考> 基本構想 1 政策展開の基本的視点 (2) <u>国内外から選ばれ、持続的に発展する都市をつくります</u>	総合政策課

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
19 再掲 8	朱委員	4	資料3 3 プロジェクト	テーマⅢ「社会的包摂」に「障がいの状態、国籍、性別の違いなどにかかわらず」とあるが、PJ10「共生社会」では「障がいの状態、国籍、性別の違い」とあり、「など」が抜けている。基本構想では年齢が入っている。実施計画の「など」は年齢が入っているのか、整理すべき。	「実施計画」骨子（案）に反映しました。	テーマⅢ <u>自分らしく生きられる神奈川</u> 将来の不確実性が高まる中、経済的困窮や社会的孤立など社会に潜在する課題をあらかじめ浮き彫りにし、県民の暮らしへの影響を最小限に抑えるための備えに取り組むとともに、 <u>障がいの状態、国籍、性別の違いにかかわらず、誰もがその人らしくくらす地域社会の実現に向けた取組を進めます。</u>	総合政策課 福祉子どもみらい局
20	小池委員	3	資料3 3 プロジェクト	PJ3「未病・健康長寿」の未病の改善に健康増進というキーワードが含まれているという理解でよいか。生き生きと生活や自分の心身を保っていく、高めていくということを前面に押し出すのに、未病の改善だとメッセージがそがれてしまうのでは保健や健康増進、もしくはそれに近いニュアンスものを選択すればよいかと思う。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		政策局 健康医療局
21	小池委員	3	資料3 3 プロジェクト	健康とともに栄養の在り方がとても大切になる。例えば食事や食育を知る機会を確保していく、運動と栄養が重要。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		政策局 健康医療局
22	小池委員	6	資料3 3 プロジェクト	健康日本21の健康、検診データを使ってどのように改善していくのかという取りまとめの中で、神奈川県はゼロだったなどデータの利活用が遅れている。データの利活用を強調していただいた点は素晴らしいが、安全が保証されていないとデータの利活用は進んでいかなので、データの安全性を強調した文言を入れていただくとういことかと思う。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総務局 健康医療局
23	海津委員	4	資料3 3 プロジェクト	PJ7「農林水産」について、食料の自給率をどう上げていくのかということが課題であり、県としてどのように自給率を上げていくのかという視点も盛り込むと農家などの方にも政策的視点が広がる。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		環境農政局
24	末富委員	3	資料3 3 プロジェクト	PJ2「教育」について、国の「第4期教育振興基本計画」が6月に閣議決定されたところだが、「Well-being」いわゆる「幸せの実現」を子どもたちや学習者を実現していくという大胆な方針転換が図られている。その視点からいうと「たくましさ」や「自立」という書きぶりでは、「人を育む」視点がなく、非常に貧しい教育観を反映したままではないかという懸念がある。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		教育局

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
25	和田委員	6	資料3 6 計画推進	(イ) 多様な担い手との協働・連携について、多様な価値感、あるいはジェンダーなど壁を感じないボーダーレス協働を推進しますとか、目指しますとか、そういう言葉に変えられないか。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課 政策局
26	和田委員	6	資料3 6 計画推進	(ウ) 県内市町村や他都道府県との協調・連携について、地域の人と人が繋がり、持続的成長を支えるプラットフォームを検討していきますという言葉を変えられないか。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課 政策局
27	和田委員	3	資料3 3 プロジェクト	PJ2「教育」について、知の創発や新しい社会的知識の吸収などリベラルアーツ的な教育を進めていきますといった言葉のほうに向かっていく方向が見えるのではないか	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課 教育局
28	和田委員	3	資料3 3 プロジェクト	PJ3「未病・健康長寿」について、身体的、精神的、社会的に良好なウェルビーイングを共創させていく、フレイルにならない社会を培っていくという言葉を加えられないか	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		政策局 健康医療局
29	和田委員	4	資料3 3 プロジェクト	PJ8「脱炭素・環境」について、自然や地域文化と環境のサステイナブル共生のような、文化と環境を単純に維持すればよいというわけではなく、経済性も考慮しながらうまく地域文化と環境との共生を図るような言葉がどこかに欲しい。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		環境農政局
30	坪谷委員	4	資料3 3 プロジェクト	PJ10「共生社会」について、「実施計画」は、より具体的な施策の方向性を打ち出すという意味では、ちょっと具体性が少ないという印象を受ける。当事者目線の障害福祉推進条例」というものが作られているので、具体的な言葉を入れてもらいたい。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		福祉子どもみらい局
31	原委員	3~4	資料3 3 プロジェクト	栄養を知る機会が大切という意見と食料自給率を上げることが大切という意見があったが、これらをあわても対応してよいのではないか。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		健康医療局 環境農政局
32	原委員	3	資料3 3 プロジェクト	PJ1「子ども・若者」について、「希望する人が希望する人数の子どもを持ち」とあるが、希望する人自体が増えるように読み取れるようにした方がよいのではないか。	「実施計画」素案(案)を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		福祉子どもみらい局

NO	委員名	頁	項目名	意見	対応	記載内容等	担当局
33	小野島委員	-	参考資料	財政的な視点の情報が欲しい。施策を考える上で財政的な視点を見ていかないといけない。参考資料があれば、具体的議論ができるのではないかな。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課
34	牛山委員	2	資料3 2 めざすべき4年後の姿	「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」について、デジタル化はもちろん大事だが、方向性を示す必要がある。県民目線のデジタル行政というのはセキュリティや情報弱者のこことのように読めるが、中身を見ると「ジェンダー」や「当事者目線」「三つの主流化」と書かれており、全体として文言を整理する必要がある。	「実施計画」素案（案）を策定するプロセスの中でご意見の趣旨を生かしていきます。		総合政策課